

平成21年3月28日

福知山FM放送 平成20年度第7回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成21年3月24日（火）午後6時～
2. 場所 京都府福知山旭が丘111番地
北関西IITメディアセンター福知山2F セミナールーム
3. 出席状況 総委員数 9名
出席委員数 5名
出席委員の氏名 大槻敦巳 委員
足立 保 委員
梶村誠悟 委員
藤田佳宏 委員
松田 規 委員
放送事業者側出席者名
代表取締役社長 松井喜久夫
局長補佐 水嶋孝彦
4. 議 題 1) 福知山FM放送局概況報告
2) 放送番組全般に対するご意見
3) 次回番組審議会の開催日時について
4) その他
5. 議事の概況
1) 代表取締役社長 松井喜久夫より、前回審議会以降の概況報告が行われた。
2) 各委員より放送番組全般に対する意見が出され、それぞれ代表取締役社長松井喜久夫が答申した。
3) 次回番組審議会の開催日時について協議がなされた。
4) その他、代表取締役社長松井喜久夫より今後の放送展開についての説明が行われた。
6. 審議の内容
1) 福知山FM放送局概況報告

代表取締役社長松井喜久夫より前回審議会以降の概況報告が行われた。

- ア) 一周年記念特別番組について
- イ) 1年間を振り返って
- ウ) 番組変更について「キャッスルカフェ」から「福知山ふるさと季行」へ
- エ) 福知山市防災行政無線との放送連動装置の件
- オ) 春のセンバツ高校野球生中継について
- カ) NHK朝の連続ドラマ「つばさ」について

2) 放送番組全般に対するご意見

成美高校野球部の応援中継の放送を聴取した後、大槻委員長の議事進行のもと、各委員が前回審議会以降の放送番組全般に対する意見を述べた。

出された意見及びその答申は以下の通り

- (委員) サイマル放送ができたことで全国どこにいても聞けるので良い。また、他の地域の放送も聞けるので良い。音質も比較的良いと思う。
- (事務局) 音質に関しては128k bps ぐらい出すとCD並みの音質で流せるのですが、福知山の場合インターネット環境が遅れていますので現在は24k bps で放送しています。来月から64k bps で流そうということでもう少し音質が上がってこようかなと思います。
- (委員) 成美高校の中継についてはテレビで見るという考えしかなくラジオで聞くということは考えもしなかった。
- (委員) 朝7時になるとFMキャッスルへ切り替えるようにしている。今年は雪が少なかったのが良いが雪の多い年は朝早く来るパーソナリティは大変だなと思う。
- (委員) 番組と関係ないのですが案内文などで「各位」とありますがあまり使われない方がよいかと思うことができました「皆様へ」として頂きたい、また吉日というのも、良い日悪い日があるわけではないので日付が特定できないのであれば月までで良いと思うので。
- (事務局) その辺りは意識して直させていただきます。
- (委員) サイマル放送の話があったが、メディアの発達はすごい勢いで、この先ラジオがどうして生き残っていくのかなと思うわけですが、あえて全国や世界をとというのは考えなくも良いのではないか、思い切り福知山に特化して、地域性というものをベースにして頂きたい。
素材についてですが日本には様々な表現方法があり、絵画や写真や音楽であったり、どうしても今はJ-POPという音が流れるわけですが、川のせせらぎの音や、メジャーではないけども少しずつ受け継がれている

音をぜひピックアップして流して頂くのも良いんじゃないかなと思う。

(事務局) おっしゃる通りで自治会に情報提供を呼びかけているのも、そういった文化の掘り起こしというものをお互いが共有できればとの思いからのこと。そういったことで今回の番組改編において新番組としてこのようなタイトルを付けさせて頂きました。

3) 次回番組審議会の開催日時について

大槻委員長の議事進行のもと、次回番組審議会の開催日時について協議した結果、5月26日(火)に第8回番組審議会を開催することが決定した。

4) その他

代表取締役社長松井喜久夫より、今後の放送における展開について説明が行われた。大槻委員長が閉会にあたっての挨拶を行い、第7回番組審議委員会を閉会した。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

特になし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

事務所に備置き 平成21年 3月28日

ホームページに掲載 平成21年 3月28日

9. その他

特になし